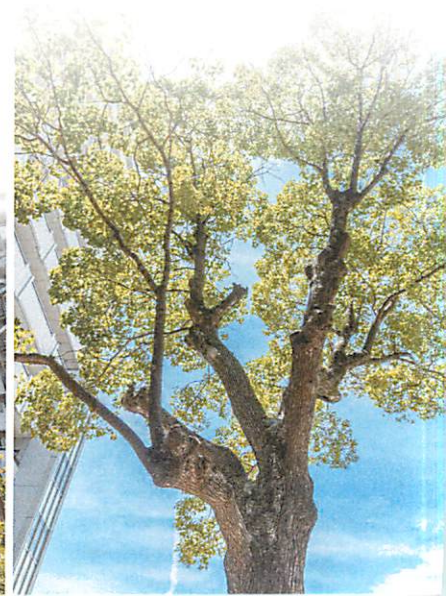




# 病院案内

Hospital Information



## 理念

赤十字職員としての  
使命を胸に、心のかよった  
最良の医療を提供し、  
地域社会に貢献します。

1905年の設立以来、いかなる時も地域の基幹病院として高度な医療を推進し、赤十字の医療施設として国際医療救援・国内救護などにも積極的に取り組んでいます。

理念・基本方針に基づき、信頼の得られる診療体制を構築し、地域医療の向上をめざし医療連携にも力を注いでいます。

高度救命救急センターとして救急医療のさらなる充実に努めるとともに、災害時には和歌山県総合災害医療センターとして、その機能を駆使した迅速な災害医療活動を展開します。

## 基本方針

- 1 急性期病院として高度で質の高い医療を追求するとともに、安心安全な医療の提供に努めます。
- 2 高度救命救急センターの役割を果たし、救急医療に積極的に取り組みます。
- 3 国内外における救護・救援活動および保健衛生活動に積極的に取り組みます。
- 4 地域の医療機関と連携を密にし、地域の基幹病院としての使命を全うします。
- 5 次世代の医療を担う人材を育成します。
- 6 働きがいのある充実感溢れる職場づくりを目指します。
- 7 社会的使命の永続的遂行を図るため、健全な病院運営に努めます。

## 患者さんの 権利の尊重

私たちは次に掲げる患者さんの権利を尊重した医療を提供します

1. 公平に良質な医療を受ける権利
2. 人権が尊重される権利
3. プライバシーを保護される権利
4. 医療上の十分な説明と情報提供を受ける権利
5. 自らの意志に基づき医療を選択する権利
6. 他の医師等の意見(セカンドオピニオン)を求める権利

【患者さんは上記権利を有されますが、円滑に医療を推進するために、病院の規則や医療者の指示を守って下さい】

## 臨床における 倫理方針

### 1. 患者さんの人権を守ります

- (1) 医療内容やその他の必要事項について説明義務を果たします
- (2) 職務上の守秘義務を遵守し、個人情報を保護します
- (3) 患者さんの立場に立った対応で良好な信頼関係を築きます

### 2. 患者さんの自己決定権を尊重します

- (1) 治療方法の選択を行う場合は、医療従事者との相互理解による患者さんの意志表明を尊重します
- (2) 医療行為について十分説明し、患者さんに理解していただき、同意を得てから実施します

### 3. 倫理委員会で審議します

- (1) 生命の尊厳に関する問題
- (2) 患者さんの信条と医療行為の妥当性に関する問題
- (3) 新しい治療技術等の問題
- (4) その他倫理的問題

### 4. 医療の進歩に必要な研究を実施します

- (1) 治験を行う場合は、治験委員会で十分な審議を行います
- (2) 臨床研究を行う場合は、倫理委員会で慎重に審議します



ロビー



救急(ICU)



血液浄化センター



外来



患者サポートセンター



スタッフステーション

## 概要

名称	日本赤十字社和歌山医療センター
院長	平岡 眞寛
所在地	和歌山市小松原通四丁目20番地
開設年月日	1905年(明治38年)4月1日
許可病床数	873床
病床等	ICU(22床) CCU(8床) 救命救急病室(44床) NICU(9床) GCU(6床) ER重症治療室(3床) ER多目的治療室(1室) 緩和ケア病床(20床) 1類感染症病室(2床) 2類感染症病室(6床) 手術室(22室) 内視鏡センター(6室) 無菌室(10室) LDR(2室) 顕微授精室(1室) 血液浄化センター(30床)
指定・認定	高度救命救急センター 和歌山県総合災害医療センター 第一種・第二種感染症指定医療機関 臨床研修指定病院 地域がん診療連携拠点病院(高度型) 地域医療支援病院 地域周産期母子医療センター HIV診療拠点病院 病院機能評価(一般病院2 3rd G:Ver.1.0)認定 日本赤十字社国際医療救援拠点病院
患者数	外来1,317名、入院629名(平成29年度一日平均)
職員数	1,690名(2018年4月1日現在)
診療時間	9:00~17:30
面会時間	11:00~19:00
休診日	土曜日・日曜日・祝祭日 年末年始(12月29日~1月3日) 創立記念日(5月1日)
附属施設	和歌山赤十字看護専門学校 あすなろ保育園

## 施設

敷地面積	25,608.87㎡
敷地内建物面積	97,293.54㎡
建築物構造	鉄骨造(一部鉄骨鉄筋コンクリート造) 免震構造(本館)
設備	屋上ヘリポート(2機駐機型)



## ● 診療科・部門一覧

循環器内科	消化器内科
糖尿病・内分泌内科	血液内科
腎臓内科	呼吸器内科
脳神経内科	精神科
心療内科	リウマチ科
感染症内科	漢方内科
緩和ケア内科	小児科
皮膚科	
外科・消化管外科・肝胆膵外科	乳腺外科
小児外科	眼科
耳鼻咽喉科	産婦人科
泌尿器科	整形外科
歯科口腔外科	脳神経外科
心臓血管外科	形成外科
呼吸器外科	
放射線治療科	放射線診断科
麻酔科	リハビリテーション科
第一救急科部・外傷救急部	集中治療部
神経救急部	病理診断科部
薬剤部	検査部
医療技術部	健診部
看護部	国際医療救援部
国際感染症事業部	医療社会事業部
医療安全推進室	教育研修推進室
感染管理室	医療連携総合支援センター
患者総合支援センター	臨床研究センター

## ○ 高度な医療

保険診療で認められている高度な医療をすべての診療領域で提供すべく、最新の医療機器の導入、専門医の育成・採用、チーム医療の促進に取り組んでいます。



不整脈アブレーション

## ○ がん医療

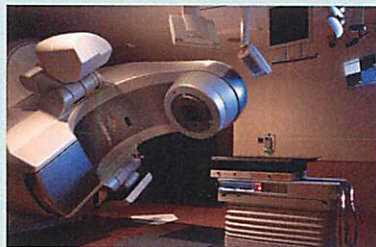
当センターが目指すがん診療は、検診によるがんの発見、最新技術を駆使した診断、診療科の垣根を越えた集学的治療、治療途中の救急体制、そして、社会復帰への支援、あるいは終末期の緩和医療といった途切れの無い医療です。患者さん一人ひとりの背景を理解し、全人的(身体的、精神・心理的、社会的)にアプローチするように心がけています。



手術支援ロボット



薬物療法



放射線治療



緩和ケア病棟



## ○ 医療連携

良質で適切な医療を提供できるよう、県下および隣接府県の医療機関との相互協力を図る『日本赤十字社和歌山医療センター医療連携ネットワーク』を運営。他医療機関からの紹介予約、逆紹介の調整などを行うとともに、医療機器の共同使用、研修会・セミナーの案内、機関誌の発行、親睦会の開催などを通じ地域医療の質の向上に努めています。



実務者の会



講演会

## ◎ 高度救命 救急センター

県下初の救命救急センターとして1986年に設立。現在、集中治療室(ICU・CCU)30床、救命救急病室44床を有し、全国最大規模となっています。全例応需を合言葉に重症および複数の診療領域にわたる重篤な救急患者さん、初期および第二次救急医療施設等からの救急搬送を24時間体制で受入れています。2017年より常設型(24時間運用)和歌山市救急ワークステーションとしてドクターカー運用を開始。より早い治療開始により、救命率の向上に貢献しています。



ICU



ER



搬送



ドクターカー

## ◎ 国際医療救援

1985年、エチオピア連邦民主共和国への助産師派遣を皮切りに、大規模な災害や紛争により救援を必要とする世界の各地域に職員を派遣しています。2000年、日本赤十字社より「国際医療救援拠点病院」に指定されました。被災者への医療救援はもとより、その後の復興支援や保健衛生などの活動にも世界的な赤十字のネットワークを活かし、グローバルな活動を展開しています。また、派遣要員・派遣候補者のために熱帯医学や国際保健など様々な研修も実施しています。



バングラデシュ難民救援



バングラデシュ難民救援



フィリピン台風救援

## ◎ 国内救護

国内各地の災害被災地で迅速に救援活動が展開できるよう、医師・看護師らによる常備救護班を編成し、様々な訓練に参加しています。1995年の阪神・淡路大震災では23班延べ133名の職員を派遣。2011年の東日本大震災では13班延べ106名、2016年の熊本地震では救護班5班・病院支援7班延べ70名を派遣するなど赤十字の責務を果たしています。



東日本大震災



熊本地震



平成30年7月豪雨

1995年7月 ● 南館竣工

1996年4月 ● 許可病床数845床

1997年5月 ● 和歌山県  
総合災害医療センターに指定

2000年11月 ● 国際医療救援部設置、  
国際医療救援拠点病院に指定  
(平成12年)

2002年12月 ● 地域がん診療連携拠点病院に指定

2003年5月 ● 許可病床数865床

2005年10月 ● 和歌山医療センター創立100周年記念式典を挙げる

2006年10月 ● あすなろ保育園新築移転  
(平成18年)

12月 ● 地域医療支援病院に承認

2009年4月 ● DPC対象病院

2011年3月 ● 本館竣工

4月 ● 高度救命救急センターに指定

5月 ● 地域周産期母子医療センターに認定

10月 ● 第一種・第二種感染症指定医療機関に指定、許可病床数873床

2015年6月 ● GCU(新生児治療回復室)設置

2018年4月 ● HIV診療拠点病院に指定

10月 ● 緩和ケア病棟設置

2019年4月 ● 地域がん診療連携拠点病院(高度型)に指定



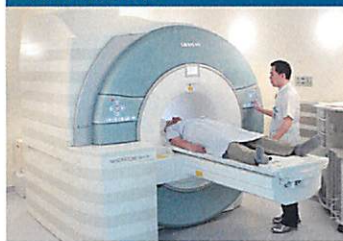
外装工事後の旧本館と南館(1995年)

## 医療機器

手術支援ロボット



3テスラMRI



320列CT



リニアック



アンギオ(バイブレーション)



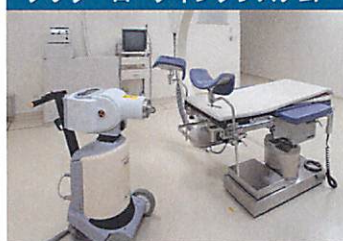
バイオクリーン手術室(人工心臓装置)



スペクト



アフターローディングシステム



### その他

- 3D手術内視鏡システム
- ナビゲーションシステム
- ハイビジョン内視鏡システム
- 多目的デジタルX線TVシステム
- スペクトラルドメインOCT  
共焦点眼底走査システム
- 乳腺バイオプシー
- 体外式衝撃波結石破碎装置

# 沿革

1905年4月  
(明治38年)

和歌山市七番丁に、日本赤十字社和歌山支部病院として  
発足し、内科および外科の2科を設置  
病床数50床で診療を行うとともに、救護看護婦養成を開始

1910年1月

和歌山市小松原四丁目に  
本館2階建、病舎平屋建完成  
病床数100床

1943年1月

日本赤十字社和歌山支部病院を  
改め、和歌山赤十字病院と改称

1945年7月  
(昭和20年)

米軍の和歌山市大爆撃に  
よる延焼によって、  
別館のみ残して焼失



本館、病舎(1910年)

1950年4月

和歌山赤十字看護学院を設置  
(同年12月和歌山赤十字高等看護学院に改称)

1956年5月

本館完成、許可病床数452床  
併せて病院創立50周年記念式典を挙行

1964年11月

北病棟完成、許可病床数587床



北病棟(1964年)

1975年3月  
(昭和50年)

あすなろ保育園設置

1976年4月

和歌山赤十字高等看護学院を  
和歌山赤十字看護専門学校に  
改称

1977年7月

西病棟完成、許可病床数664床

1979年7月

和歌山赤十字看護専門学校新築

1983年8月

健康管理センター設置

1985年3月

NICU(新生児集中強化治療室)、  
PICU(周産期集中強化治療室)設置

1986年4月

中央診療棟および和歌山県赤十字救命救急センター竣工、  
許可病床数800床

1995年6月  
(平成7年)

和歌山赤十字病院改め、  
日本赤十字社和歌山医療センターに改称

## 施設設備

### 通院治療センター



### リハビリテーション



### 血液浄化センター

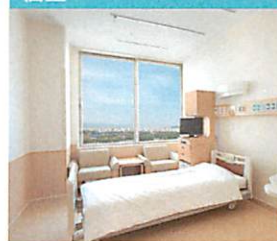


## 病室・療養環境

### 特別室



### 個室



### 4人室



### LDR



### 無菌室



### ダイニング



### ホスピタルアート



### 庭園



### ラウンジ



### 多目的ホール



可動式客席を備えた300名以上収容可能なホールを本館12階に設置。研修会や講演会を定期的に開催しています。

### 健康管理センター



早期発見・疾病予防のため、人間ドックや生活習慣病健診、オプション検査などを、快適な環境で受けていただけます。

### 患者図書室



健康・医療情報取得へのニーズの高まりに応えるため、患者さん自身が疾患や治療を理解し、主体的に関わっていくために必要な医学情報などを提供しています。

### 和歌山赤十字看護専門学校



赤十字の基本原則に基づき、豊かな人間性と幅広い看護能力、国際性を備えた看護師の育成を目指しています。

### あすなる保育園



医師・看護職員が安心して勤務できるよう、夜間・土日祝・年末年始の保育も実施する院内保育園と、病児保育室(平日のみ)を併設しています。

### 職員寮



医師・看護職員が利用できる冷暖房・防音設備・セキュリティの整った住居施設を徒歩通勤圏内に敷地内所設け、福利厚生の実現を図るとともに災害時等の人材確保に備えています。



### 駐車場・駐輪場

敷地内北側に3層4階239台、敷地内南側に平面94台、センター東側に4層5階208台、計541台の駐車場(内、身体障害者用15台を含む)を確保しています。  
 約680台収容可能な駐輪場を北側立体駐車場1階部分に設置するなど、敷地内3カ所に約960台の駐輪スペースを確保しています。

**日本赤十字社** 和歌山医療センター  
 Japanese Red Cross Society

〒640-8558 和歌山市小松原通四丁目20番地  
 TEL 073-422-4171(代) FAX 073-426-1168  
 ホームページ <https://www.wakayama-med.jrc.or.jp>

